

第71回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会

□大会第4日目 7月7日(火)

代表決定戦		仙台市民球場		2時間 21分																	
東	北	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
仙	台	育	英	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	X					
										【東】		35	5	2	3	1	2	9	7	2	0
										【仙】		30	2	3	0	5	3	6	8	0	1
												▽本塁打				なし					
												▽三塁打				なし					
												▽二塁打				なし			(東)		
																東海林			(仙)		

【評】
 本日の代表決定戦第1試合は仙台育英のエース青沼と東北のエース高森が先発した。試合は序盤から動く。1回表東北は2アウト2，3塁から5番船津のレフト前ヒットで2点を先制する。対する仙台育英も相手のエラーもあり4回・5回と1点ずつ取り、今大会3試合目のタイブレークに突入する。10回では決着がつかず迎えた11回表東北は1アウト2，3塁からエンドランも仕掛けるも三振ゲッツーとなり無得点。対する仙台育英は1アウト2，3塁から2番青沼のショートへの内野安打で1点をあげ見事2年連続の宮城県代表を決めた。東北は再三チャンスを作るもあと1本が出なかった。

代表決定戦		仙台市民球場		1時間 42分																	
東	北	学	院	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
仙	台	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
										【東】		28	2	2	2	1	7	7	5	1	0
										【仙】		32	4	1	0	0	2	6	6	2	0
												▽本塁打				なし					
												▽三塁打				三上(東)					
												▽二塁打				なし			(東)		
																梶本			(仙)		

【評】
 本日の代表決定戦第2試合は東北学院鎌田、仙台竹林の両エースの先発となった。序盤は両エースの好投が続き、お互い得点できないまま試合は中盤へ。均衡が破れたのは5回裏。仙台はヒットで出塁したランナーを、1番梶本がタイムリーヒットで返し貴重な先制点を奪う。グラウンド整備を挟んだ6回表、またもゲームは大きく動く。東北学院は連続四球で出たランナーを相手のエラーと、5番三上のタイムリースリーベースなどで返し4点を取り返し、仙台を突き放す。その後は先発の鎌田は仙台を相手に打たせて取る投球を続け、最後まで反撃を許さず試合終了。中盤の攻防を制した東北学院が2年ぶりに東東北大会への切符を手にした。